



学校だより

令和 8 年 6 月 25 日

学 校 教 育 目 標

7

月

号

子どもたちがともに学び、創り出し、行動することができるようにします＝輝く自分、輝く鶴小＝

横浜市立 鶴ヶ峯小学校

(<http://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/tsurugamine/>)

五感をフルに

校長 渡辺 正規



今年度はじめての宿泊学習に 5 年生と行ってきました。

バスの中から海が見えたたん、一斉に歓声が上がりました。降り立つと独特な潮の香りが迫ってきましたが、顔をしかめる児童が多かったのは意外でした。波の音やカモメの鳴き声を聞いて、三浦（神奈川県）に来たのだと実感しました。

漁師さんから漁業についての話を聞く時間では、タコやアジ、マンボウ、エイなどを触ることもできました。サメにも触ることができて、「サメ肌」の実際をよく確かめていました。手を使ってアジを三枚におろす体験もしました。昼食時には、三浦産の海苔に舌鼓を打ちました。

横浜とは違う非日常を、まさに五感を総動員して味わう時間となりました。



校内では、花、植物がぐんぐん成長しています。「キュウリが大きくなったのでとってきます。」「アリの実がなりました。」「葉の表はザラザラなのに裏はつるつるです。」などの弾んだ声もよく聞かれます。高学年児童が植物の茎の断面を顕微鏡で覗いた時の感嘆の声も印象的でした。また、水泳学習での水の冷たさ、体を感じる抵抗なども子どもたちにとっては刺激的です。



本校の特色「一句の日」に限らず、国語力の基礎となる、感性を磨くことを意識して教育活動を行っていきます。五感を通してのみずみずしい感性、ご家庭や地域ではどうでしょう。その表現力に大人側もワクワクしたいものです。

さて、これから本格化する「暑さを感じる」ことについては、十分気を付けて、身を守る行動につなげるようにしていきます。